

こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース

2021年9月5日 No.1112



きらとみひこ

吉良富彦です

新屋敷事務所	823-5878
薊野事務所	846-2046
県議会控室	823-9524

高知競馬854億円の売上 本年度も1.12倍の伸び！

●27日、県競馬組合議会が開かれ出席しました。
高知競馬の昨年度、コロナ禍中での売上は、インターネットによる発売が寄与し前年度を290億円も大きく上回る854億円と過去最高。5年連続で売上レコードを更新しています。

今年度も7月末時点で予想を36億円上回る231億円の売上で、前年比1.12倍です。好調な現状のもと、施設改修への補正予算30億円余充てることを採決した後、設置者の高知県と高知市への利益配分金の在り方と、競馬事業運営のための各種基金積立に関する考え方の報告を競馬組合事務長から受けました。

県と市への配分金 昨年わずか5900万円

●県と市への収益金配分は、運営危機を脱した2018年度から再開し、昨年度は5900万円（県4300万円、市1600万円）でした。一方、組合は好調な売り上げを背景に、事業存続を

念頭に、新たに「危機管理基金50.2億円」や、「施設改善基金120.9億円」など、今後5年間で積立てるとしています。



競馬事業は「畜産振興と福祉事業」が目的で事業存続が目的ではありません。5900万円ではそれらの目的を達成する財政貢献には程遠いもので、配分の見直しは待ったなしの課題となっていました。

今後5年間の配分金 県39.9億円 市14.5億円

●競馬組合と高知県、高知市の3者が話し合い、協定を結ぼうとする収益金配分方式は、売り上げを基準に、その1.5%を毎年利益配分金として、設置者の県と市の出資比率（11：4）に応じて配分。今年度は854億円の1.5%で県9.39億円、市は3.41億円で、5年間の総額では、県39.9億円、市14.5億円としている。私は、事業目的、原点に立って、なお、検討をするよう求めておきました。

12月の組合議会に最終案が提案されます。

抗原検査を受けました

●県が非常事態を宣言し、国によって、まん延防止等重点措置県に指定された27日、上記の競馬組合議会が競馬場の組合事務所棟で開かれ出席しました。ところが、なんと、その後、出席者からコロナ感染の陽性が判明！

●県議会は濃厚接触者でなくても同室に居た者を接触者と位置づけ、2週間、登庁を自粛する対応策を決めている。ただし、自費でPCR検査など受け陰性が確認されたらオツケーとなる。

●ざんじ、検査協力医院の一つ、私の町内の小谷医院に予約し、抗原検査を受けた。ドキドキして待つこと15分、「陰性です」の看護師さんの声に一安心！しかし、検査料1万2千円なり！これがこたえた（汗）

●0.006mの飛沫で感染可能性有と、空気感染の様相が報告されている。いつ感染してもおかしくない不安への対処は



ワクチン頼みでは遅きに失す。行政は徹底した検査、検査、検査で早期発見、早期隔離治療を！